

第36回初期消火競技大会実施要領

1 目的

この大会は、各事業所自衛消防隊員の初期消火技術の向上及び防火意識の高揚を図ることを目的として開催します。

2 日時

令和7年10月17日（金） 10:00～12:00, 13:30～15:30

※今大会から、お申込み時に御回答いただく競技実施希望時間を元に、各チームの競技実施時間をあらかじめ決定し、事前にお知らせします。（競技を終えられたチームからお帰りいただけます。）

開会式及び閉会式は行いません。（競技結果は10月20日（月）13時に消防局HPにて発表します。）

3 会場

呉市警固屋2丁目222 警固屋公園多目的広場

4 実施機関

主催：呉市消防局 共催：呉市防災協会

5 競技内容（別紙「実施要領」参照）

- (1) 出場区分は消火器男子の部・女子の部・男女の部とし、それぞれ1チーム2名とします。
- (2) 競技で使用する水消火器は消防局が用意します。

6 出場手続

次のQRコードまたはURLより専用お申込みフォームへアクセスし、9月12日（金）までにお申込みください。（お申込みフォームへアクセスが出来ない場合は、御連絡ください。連絡先：0823-26-0323）

お申込み ⇒



<https://1c35ab61.form.kintoneapp.com/public/f>

7 その他

(1) 競技内容の説明

次のQRコードまたはURLから競技内容の説明動画が御視聴いただけます。

説明動画 ⇒



<https://www.city.kure.lg.jp/site/syoubou/syokisyouka.html>

なお、大会当日に競技内容の説明会を行いませんので、あらかじめ御了承ください。（大会当日、会場に練習用のコースを設けますので御利用ください。）

(2) 服装

作業服等の動きやすい服装で参加してください。

(3) 雨天時の大会中止等の連絡

雨天時の大会中止は、当日8時に決定します。（順延なし）

大会中止の連絡を含む、その他必要事項については、お申込み時に御入力いただいたメールアドレス宛に御案内します。

1 事前準備

- (1) 消火器（水消火器）を所定の位置に置き、係員の点検を受ける。
- (2) 発進枠に入り、①番員が「準備よし」と係員に合図して発進の合図を待つ。

2 ①番員の操作要領

- (1) 発進の合図で、出火場所の想定用紙を確認する。
- (2) ②番員に出火場所を「〇〇が火事」と2回以上繰り返す要領で伝達する。
- (3) 119番をダイヤルし、「火事です」「呉市西中央3丁目1-9のビルの〇〇が燃えています」の要領で通報し、係員の「よし」の合図で受話器を置く。
- (4) 予備消火器を『予備消火器搬送枠』に搬送し、その後ポリ容器3個を『容器搬送枠』に搬送する。
- (5) 出口へ向かう。

注1 出火場所の想定用紙は倉庫、事務所、食堂の用紙から抜き取って決定する。

注2 消火器やポリ容器は投げてはならない。（②番員も同様）

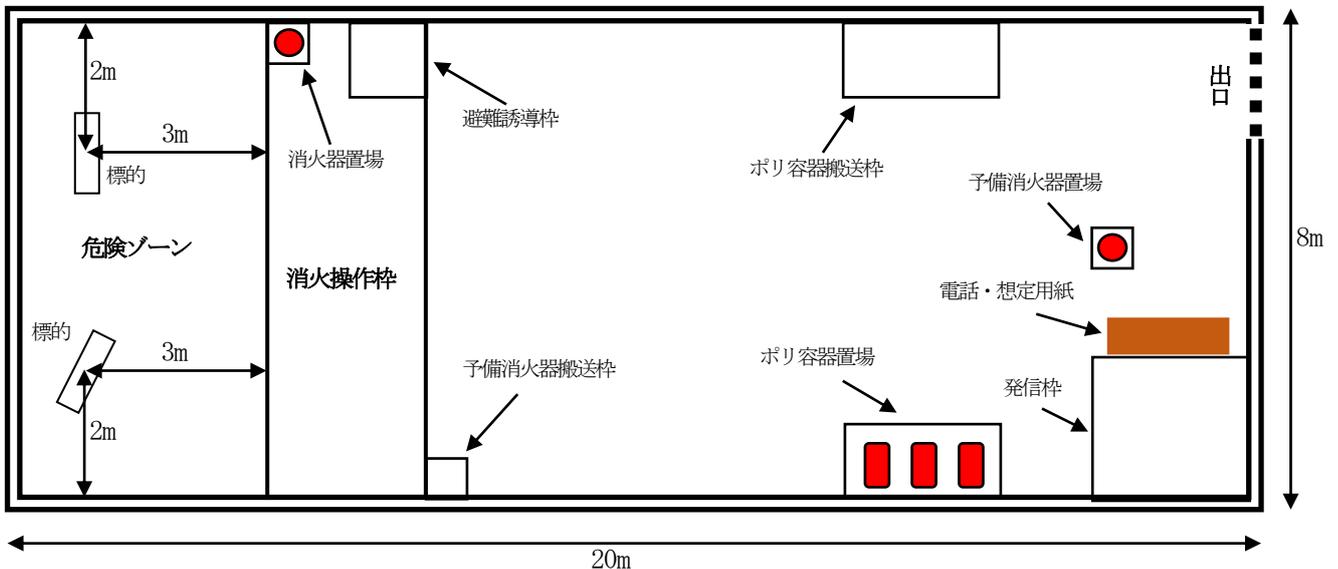
3 ②番員の操作要領

- (1) ①番員の出火場所の伝達を受けて「よし」と呼称する。
- (2) 『避難誘導枠』内で「〇〇が火事です、避難してください」を3回以上繰り返す要領で避難誘導を行う。
- (3) 消火器置場の消火器を使用して消火（的（※ポイ）に穴を開ける。）する。
 なお、1本目の消火器で消火することができないときは、予備消火器を使用して消火（的（※ポイ）に穴を開ける。）する。
- (4) 出口へ向かう。

※ ポイは、金魚すくい、ボールすくい等で用いるものを使用する。

注1 消火後は①番員の容器搬送を補助してもよい。

4 コース略図



※寸法 (m) 発進枠：2×2 消火器操作枠：8×2 危険ゾーン：8×4 避難誘導枠：1×1
 ポリ容器置場・搬送枠：1×2 各消火器の置場・搬送枠：0.5×0.5

5 審査基準

持点を100点とし、減点項目に該当する行動があった場合には、該当項目の減点数を持点から差し引き、点数が高いチームから順位を決定する。
 なお、点数が同点の場合、競技に要した時間が短いチームから順位を決定する。

① 番員の減点項目	減点数
出火場所を2回以上繰り返して伝達しなかった。	5
通報内容に不備があった。	5
係員が「よし」と合図する前に受話器を置いた。	5
予備消火器を『予備消火器搬送枠』に搬送しなかった。	10
消火器を投げた。	5
ポリ容器を投げた。	5
ポリ容器を倒したままにした。(直ちに直した場合は、減点の対象とならない。)	5
この要領に規定されていない事項で、審査委員が不適・危険と認める行動を行った。 (例) 競技中に転倒した。	5

② 番員の減点項目	減点数
出火場所の確認の合図をせず、『発進枠』内から出た。	5
避難誘導を行わなかった。(要領の不適も含む。)	5
消火器を『操作枠』外で操作した。(安全栓及びホースの操作を含む。)	5
『危険ゾーン』内に入った。(足で線を踏んだまたは超えた状態をいう。)	10
的(ポイ)に穴を開けることが出来なかった。	10
消火器を投げた。	5
ポリ容器を投げた。	5
ポリ容器を倒したままにした。(直ちに直した場合は、減点の対象とならない。)	5
この要領に規定されていない事項で、審査委員が不適・危険と認める行動を行った。 (例) 競技中に転倒した。	5